



DIAS_Satellite_ALOS_PALSAR_MOSAIC データセット

1. 識別情報

名称	DIAS_Satellite_ALOS_PALSAR_MOSAICデータセット
メタデータID	DIAS_Satellite_ALOS_PALSAR_MOSAIC20200901181649-DIAS20200901154929-ja

2. 問い合わせ先

2.1 データセットに関する問い合わせ先

名前	濱本 昂
組織名	宇宙航空研究開発機構
住所	日本, 305-8505, 茨城県, つくば市, 千現2-1-1
電話番号	+81 50 3362 7989
ファクシミリ番号	+81 29 868 2961
電子メールアドレス	hamamoto dot ko dot at jaxa dot jp

2.2 プロジェクトに関する問い合わせ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	一般財団法人リモート・センシング技術センター
住所	日本, 105-0001, 東京都, 港区, 虎ノ門3丁目17-1 TOKYU REIT 虎ノ門ビル2階
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	濱本 昂
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	hamamoto dot ko dot at jaxa dot jp

4. データ作成者

名前	濱本 昂
組織名	宇宙航空研究開発機構
電子メールアドレス	hamamoto dot ko dot at jaxa dot jp

5. ドキュメント作成年月日

2020-09-01

6. データ作成年月日

revision : 2016-01-22

7. データセット概要

7.1 序論

CEOP衛星データセットは、衛星オリジナルデータから等緯度経度格子ヘリサンプリングしたグリッドデータである。データ期間はCEOPフェーズ1で定義しているEOP-3、EOP-4期間およびフェーズ2の2007年以降である。出力データの対象領域は35地点（フェーズ1の場合）もしくは52地点（フェーズ2の場合）のリファレンスサイト、5箇所のモンスーン領域および全球の3タイプのスケールがある。使用している衛星データは、MODIS、AMSR-E、SSM/I、PR、TMI、AVNIR2、PALSAR、PRISM等と数多く、データセットのパラメータも大気圏、海洋圏、陸圏、雪氷圏と多岐におよぶ

■衛星

ALOS :

「だいち」は2006年に打ち上げられた地球を観測する人工衛星（陸域観測技術衛星）で、地図作成・地球観測・災害状況の把握・資源探査などでの利用を目的に開発されました。ALOSは、高精度で標高抽出を行うためのパンクロマチック立体視センサ(PRISM)、土地被覆の観測を高精度に行うための高性能可視近赤外放射計2型(AVNIR-2)、および昼夜や天候によらず陸域観測が可能なフェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダ(PALSAR)の3つの地球観測センサを搭載しています。

■センサ

フェーズドアレイ方式Lバンド合成開口レーダ(PALSAR)

■プロダクトレベル

L1.5(PALSAR) MOSAIC

■分解能

FBS:10m

FBD:20m

PLR:30m

ScanSAR:100m

■作成エリア

カンボジア

7.2 トピックカテゴリ(ISO19139)

geoscientificInformation

7.3 時間情報

開始日	2006-05-16
終了日	2011-04-22

7.4 地理的範囲

北限緯度	20
西限経度	100
東限経度	110
南限緯度	5

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	land	No_Dictionary

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

PALSAR : http://www.eorc.jaxa.jp/ALOS/index_j.htm

JAXA/ALOS : <http://www.satnavi.jaxa.jp/project/alos/>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

9. 品質等

10. ライセンス

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/policy/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacypolicy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. 謝辞の記載方法

11.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

11.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

11.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表、論文発表、誌上発表、報告などを行う場合は、以下を参考に謝辞を記載すること。また、データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は、それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の委託事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS, 課題番号: JPMXD0716808999)の下で、収集・提供されたものである。”

12. 免責事項

12.1 プロジェクト免責事項

12.1.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/policy/>) の免責事項に関する規定が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

13. 参考文献

This project is supported by "Data Integration & Analysis System" funded by MEXT, Japan